令和4年度第4回 支えあいのまちづくり協議体（月島地域）実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う「支えあいのまちづくり協議体（月島地域）」の令和 4 年度第4回目を、月島地域で開催しました。

1 実施日

令和5年2月10日（金）14:00～15:30

2 出席者

日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関係機関、生活支援コーディネーター 11 名

3 内容

・各メンバー近況報告

・意見交換：「集まれ！スマサポまつり」の実施について、広報紙『となりぐみ』について

4 出席者近況報告

前回の協議体から、地域の様子や高齢者の状況について、各々から報告を行った。

- ✓ 昨年 11 月末で民生委員を退任したが、マンション内の見守り活動等を通じて、高齢者との関わりは継続している。
- ✓ 居宅介護支援事業にて 12 月・2 月と新規の利用者が多かった。
- ✓ 新型コロナウイルス感染者の減少により、病院では3年ぶりに対面での面会を再開する。
- ✓ スマートフォンの万歩計のアプリで、歩いた距離数が東海道五十三次のルートに換算されるものがあり、高齢男性が楽しみながらアプリを利用している。ICT のおもしろさを伝えたい。
- ✓ 新型コロナウイルスで亡くなられた場合でも、指定の安置施設と防護服にて、棺を開けて通夜・葬儀ができるようになった。別れを行うことで家族の心の整理がちがってくる。
- ✓ 認知症の方の家族が亡くなり、支える親族がいない場合は認知症の方が葬儀時の喪主を務めることになる。葬儀会社との契約や支払などが困難。成年後見制度の利用を検討するにも金銭面に余裕がない場合は難しい。
  →すてっぷ中央では成年後見制度の申立費用や報酬の助成を行っていると情報提供。
- ✓ 体を動かしたいと希望される高齢者が多く、体操教室の応募者が多い。
- ✓ 高齢者から集まりたいが集まれる場所がないという相談がある。集まる場所を確保することが課題となっている。
- ✓ 高齢者がスマートフォンを持ってから、LINE を始めたり、写真を撮ったりと、生活に張りが出ている方がいる。

5 意見交換

（1）「集まれ！スマサポまつり」の実施について

前回の協議を踏まえ、勝どき1丁目アパート 1 号棟自治会にスマサポまつりの実施について相談した結果を報告した。

実施については概ね了承。都のデジタルデバイド是正事業の一環であるスマホ講座を3回受講し、毎回 15 名ほどの参加があったほど、ニーズも高いと思われる。しかし、自治会の役員改選が 5 月にあるため、新役員就任後に改めて説明に行き、夏頃からアンケートを実施する予定とする。

（2）広報紙『となりぐみ』について

①広報紙案を提示し、以下のご意見をいただいた。

・『となりぐみ』のロゴがあると良い。
　書道が得意な高齢者に書いてもらうか、デザインを募集し毎回変えるのも一つ。
・俳句や川柳、絵画ギャラリーなど高齢者の作品を掲載すると、手に取ってもらえるかもしれない。
・問合せ先を QR コードで入れる。
・発行のタイミングに適した季節感の絵や写真を入れる。
・構成について、2段組みにすると読みやすい。
・スマサポまつりの募集記事については、何の募集かわかるよう見出しを入れると良い。

②広報紙に掲載するメンバーの顔のイラストを勝どきデイルームで活動する団体に描いていただいた。
　イラスト作品をお披露目し、複数あるイラストからメンバーそれぞれに選んでいただいた。

6 次回の予定

次回の協議体は令和5年4～5月に開催予定。晴海フラッグをはじめ開発が進んでいる晴海地域のまちあるきを実施する。

【当日写真】

